

日本血栓止血学会 学術標準化委員会 血小板部会

色のついたセルに回答をご記入下さい。設問は問43まであります。
全血法とPRP法とで回答内容に違いがある場合はシート2に全血法の条件をご記入下さい(集計表下部をクリック)

不明な点がありましたら下記までお気軽にお問い合わせ下さい。
E-mail: ksatoh@yamanashi.ac.jp
055-273-9887 (直通)
山梨大学医学部臨床検査医学講座 佐藤金夫

貴施設の概要について

問 1 都道府県	別紙1	
問 2 病床数	別紙1	床
問 3 回答者の職種	197 5 7	1= 臨床検査技師 2= 医師 3= その他 (右欄 参照)

血小板凝集能検査の概要について

問 4 血小板凝集能検査を実施している	52 156	1= いいえ → 問43以後をご回答の上、ご返送下さい。 2= はい
問 5 測定サンプル	185 14 0	1= PRP (platelet-rich plasma; 多血小板血漿) 2= 全血 3= PRPと全血の両方
問 6 依頼件数について	別紙2	件(一ヶ月の平均)
問 7 検査目的について(複数回答可)	97 98 155 29 16	1= 出血傾向 (血小板機能低下の検査) 2= 血栓傾向 (血小板機能亢進の検査) 3= 薬効評価: (抗血小板薬の効果判定 手術前の効果判定を含む) 4= 不明 5= その他 (右欄 参照)
問 8 依頼頻度(全てを100%としたとき)	別紙3	% 出血傾向 % 血栓傾向 % 薬効評価 % 不明 % その他
問 9 出血傾向の判定基準がありますか	23 160	1= はい → 具体的に (右欄 参照) 2= いいえ
問 10 血栓傾向の判定基準がありますか	32 151	1= はい → 具体的に (右欄 参照) 2= いいえ
問 11 薬効評価の判定基準がありますか	54 131	1= はい → 具体的に (右欄 参照) 2= いいえ

測定装置について

問 12 使用している血小板凝集能装置の名前およびメーカー(複数回答可)	装置名 別紙4	メーカー 別紙4
問 13 測定チャンネル間の違いが気になる	180 13	1= ならない 2= なる → 複数の所有している場合は、違いが気になる装置名を記入してください (右欄 参照)
問 14 校正をしている	94 81 21	1= している 2= していない 3= 校正機能がついていない

採血条件について

(問15~19は患者さんにより異なると思いますが、原則としての条件をご記入下さい)

問 15 採血者について[外来] (複数選択可ですが、その場合、おおよその頻度を2列目に記入してください)	採血者 頻度(合計で100%) ただし、頻度不明の場合は999を入力してください)	127 125 12 4 2 1	右欄 参照 1= 臨床検査技師 2= 看護師 3= 医師 4= 部々の外来診察室で行われて検査部に届けられるため不明 5= 不明(選択肢4以外で不明) 6= その他 (右欄 参照)
問 16 採血者について[病棟] (複数選択可ですが、その場合、おおよその頻度を2列目に記入してください)	採血者 頻度(合計で100%) ただし、頻度不明の場合は999を入力してください)	52 144 40 11 1	右欄 参照 1= 臨床検査技師 2= 看護師 3= 医師 4= 不明 5= その他 (右欄 参照)
問 17 駆血帯の使用	5 169 17	1= なし 2= 採血中は継続して使用する 3= 使用するが、穿刺後にはずす	
問 18 採血針(ゲージ) (6施設で複数回答あり別に集計した。カッコ内)	5 4 10 117 (6) 39 (4) 7 (2) 3	1= 18G 2= 19G 3= 20G 4= 21G 5= 22G 6= 23G 7= その他 (右欄 参照)	

問3 その他内訳
4 研究員
2 歯科医師
1 教員
1

数字は施設数を表す(以下、同じ)

問7 その他内訳
5 HIT
3 研究目的
2 脳ドック
1 虚血性心疾患
1 めまい、しびれ、骨髄増殖性疾患
1 薬剤の安全性評価(研究所)
1 スクリーニング
2 未記入

問9 具体例 内訳
9 機器メーカーの判定基準
5 特定濃度で二次凝集の有無
5 あると思うが詳細は不明
2 特定濃度で最大凝集率が50%以下
2 PT、APTT、出血時間、血小板数

問10 具体例 内訳
18 機器メーカーの判定基準
4 あると思うが詳細は不明
4 特定濃度で二次凝集の有無
2 特定濃度で最大凝集率が50%以上
1 他の検査(CAVI、頸動脈エコー、下肢静脈エコー、生化学検査)
1 自然凝集20%以上
1 メーカーの判定基準に独自の判定を追加
1 コラーゲン0.125 μg/ml で凝集がある場合

問11 具体例 内訳
40 機器メーカーの判定基準
4 あると思うが詳細は不明
2 メーカーの判定基準に独自の判定を追加
1 特定濃度で最大凝集率が50%以下
1 治験依頼メーカーが提示する条件
1 薬物投与前の凝集能との比較
5 未記入

問13で2と答えた施設の所有装置
9 ヘマトレーサーシリーズ
3 PAシリーズ
1 WBAアナライザー

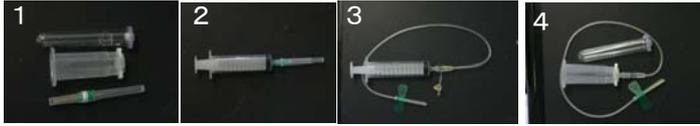
問15 全回答202施設中
83施設 臨床検査技師が100%採血
18施設 看護師が100%採血
1施設 医師が100%採血
49施設 技師、看護師が種々の割合で採血
15施設 頻度不明
35施設 未記入

問15のその他
採血室所属の看護師
問16 全回答202施設中
97施設 臨床検査技師が100%採血
21施設 看護師が100%採血
1施設 医師が100%採血
36施設 技師、看護師が種々の割合で採血
22施設 頻度不明
25施設 未記入

問16のその他
採血室所属の看護師
問18のその他内訳
1 留置から
2 不明

日本血栓止血学会 学術標準化委員会 血小板部会

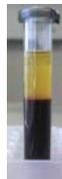
- 問 19 採血器具 64 (16) 1= マルチ針 + 真空採血管
(22施設で複数回答あり別に集計した。) 54 (17) 2= 注射針 + シリンジ
24 (10) 3= 翼状針 + シリンジ
29 (9) 4= 翼状針 + 真空採血管



- 問 20 クエン酸ナトリウム (%) 86 1= 3.13
45 2= 3.2
64 3= 3.8
- 問 21 問19で2、3と答えた施設に質問します 18 1= シリンジにクエン酸ナトリウムをあらかじめ充填して採血する
33 2= シリンジには何も加えず、採血後に真空採血管に注射針を使って移す
36 3= シリンジには何も加えず、採血後に採血針および真空採血管のキャップを外してから移す
22 4= その他 (右欄 参照)
- 問 22 two syringe 法を行っていますか? 16 1= はい
101 2= いいえ
20 3= two syringe 法を行っているか不明
57 4= two syringe 法を知らない
- 問 23 凝集能検査のための採血量について 別紙5 mL (クエン酸ナトリウムの量を含めて)

PRP作成から測定まで

- 問 24 採血後に血液を放置しますか? PRP法 全血法
58 5 1= 全血で放置する
52 --- 2= PRPを作成してから放置する
74 1 3= 放置しない
1 8 未記入
- 問 25 採血→遠心するまでの時間について 131 1= 0~30分
38 2= 31~60分
8 3= 61~90分
3 4= 91~120分
1 5= 121~150分
0 6= それ以上
4 7= 不明
- 問 26 採血→測定開始するまでの時間について 16 1= 0~30分
85 2= 31~60分
68 3= 61~90分
10 4= 91~120分
3 5= 121~150分
1 6= それ以上
4 7= 不明
- 問 27 測定時に血小板を確認しますか? (複数回答可) 62 1= 血算用のEDTA血で確認する
11 2= 凝集能検査用のクエン酸血で確認する
106 3= 作成したPRPで確認する
47 4= 確認しない
5 5= その他 (右欄 参照)
- 問 28 PRPの血小板数を調整するため希釈しますか? 86 1= いいえ
47 2= はい → 血小板数を (別紙6) / μL とする
56 3= 通常はしないが血小板数が別紙6 / μL 以上の場合は希釈する
- 問 29 問28で2、3と答えた施設にお尋ねします PRPを希釈する溶液は? 105 1= PPP
1 2= 生理食塩水
0 3= Phosphate buffer saline (PBS)
1 4= その他 (右欄 参照)
- 問 30 PRP作成時の遠心条件について(青または別紙7 分 分
はピンクのセルどちらかでお答え下さい) rpm g
青 → (回転数にて回答する場合) 回転半径 (cm)
ピンク → (遠心力にて回答する場合) 0.0 g (換算)
- 問 31 PRP作成時の遠心条件について(青または別紙8 分 分
はピンクのセルどちらかでお答え下さい) rpm g
回転半径 (cm)
0.0 g (換算)
- 問 32 PPPの作成方法について 147 1= PRPを採取後、そのチューブを再度遠心
5 2= PRPを遠心
33 3= 全血を遠心
- 問 33 PRP、PPP作成時に遠心機のブレーキ設定について 84 1= 常にブレーキを使用
70 2= ブレーキは使用しない
6 3= PRP作成時のみ使用
28 4= PPP作成時のみ使用
- 問 34 PRPはどこまで回収しますか? 18 1= ぎりぎりまで回収(赤血球層から 2mm以下)
109 2= 赤血球層から2~5mm
41 3= 赤血球層から6~10mm
17 4= 赤血球層から11mm以上
1 複数回答
コメント有り 右欄 参照



問21 その他詳細

1	シリンジには何も加えず、採血後真空採血管から移す
2	シリンジには何も加えず、採血後に針をはずしてクエン酸Naの入った試験管に入れる
3	シリンジには何も加えず、クエン酸Naの入った試験管に入れる
4	シリンジには何も加えず、採血後に針をはずしてクエン酸Naの入ったプレーンの採血管に入れる
5	未記入
6	不明

問27 その他の内訳

3	データを見ても必要があればEDTA血・クエン酸血で確認
1	血算がない場合は確認しない
1	PRPの目視により、血小板数が低い場合は、そのコメントを付けて報告する

問29 その他の内訳

1	本人血清
---	------

問34 コメント

1	2ml回収
1	Httにより変わる

日本血栓止血学会 学術標準化委員会 血小板部会

測定条件について

問 35 検査目的(問7)に応じて血小板活性化物質(以下、試薬)の使用濃度を覚えて 49 1= はい
150 2= いいえ

問 36 試薬の使用濃度(終濃度)をすべて記入して下さい。単位が違う場合はその他の欄へ記入して下さい。 **別紙9~13** **問36, 記入上の注意:** 一つのセルに1濃度だけ記入し、4濃度以上ある場合はその種の薬名を1つだけ記入して下さい

↓ 問35で2と答えた方はこちらにご記入下さい

	出血傾向	血栓傾向	薬効評価	不明	その他
PRP法	ADP(μM)	ADP(μM)			ADP(μM)
	コラーゲン(μg/mL)	コラーゲン(μg/mL)			コラーゲン(μg/mL)
	リストセチン(mg/mL)	リストセチン(mg/mL)			リストセチン(mg/mL)
	エピネフリン(μM)	エピネフリン(μM)			エピネフリン(μM)
	アラキドン酸(mM)	アラキドン酸(mM)			アラキドン酸(mM)
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()
全血法	ADP(μM)	ADP(μM)			ADP(μM)
	コラーゲン(μg/mL)	コラーゲン(μg/mL)			コラーゲン(μg/mL)
	リストセチン(mg/mL)	リストセチン(mg/mL)			リストセチン(mg/mL)
	エピネフリン(μM)	エピネフリン(μM)			エピネフリン(μM)
	アラキドン酸(mM)	アラキドン酸(mM)			アラキドン酸(mM)
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()
	その他()	その他()			その他() 単位()

問 37 試薬の希釈液について(例:専用希釈液、蒸留水など) **別紙14~17** ADP

注: 2段階に分けて希釈している場合は 専用希釈液→生理食塩水 と記入して下さい

コラーゲン		
リストセチン		
エピネフリン		
アラキドン酸		
その他()	()	試薬名 ↓
その他()	()	

問 38 試薬の品名およびメーカーについて **別紙14~17**

品名	メーカー
ADP	
コラーゲン	
リストセチン	
エピネフリン	
アラキドン酸	
その他	
その他	
その他	
その他	

問 39 PRP(全血)と血小板活性化物質の混合割合について **別紙18** μLのPRP(全血)に対して **別紙18** μLの試薬を添加する

問 40 凝集能の測定時間は何分ですか? **別紙19** 分

問 41 試薬の添加は測定開始何分後ですか? **別紙20** 分

問 42 報告方法について(複数回答可)

138	1= 吸光度法での最大凝集率
17	2= 吸光度法での立ち上がり速度
30	3= 測定時間最後の凝集率(最大凝集に関係なく)
14	4= 二次凝集を起こす最低濃度
101	5= チャート
14	6= S-MAX
17	7= AUC
15	8= S/M/L比率
49	9= 2濃度法(class1~class9)
37	10= 4濃度法(PATI G-type)
13	11= 医師のコメント
17	12= その他(右欄参照)

問 43 血小板凝集能検査に関して、疑問、不満、要望などご自由にご記入下さい(機器メーカーに対するものでも結構です)。

問42 その他 内訳

6	最大凝集出現時間、3分値凝集率、5分値凝集率、解離率、面積、スロープ、ラグタイムのいずれか
3	臨床検査技師のコメント
2	S/L比率によるクラス分類(class-2 ~ class 2)
2	独自の報告書
2	機械設定の報告書
1	乳び検体、溶血検体
1	未回答

ご協力、ありがとうございました。